

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (FAX 兼用) 691-3323
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130 '16年8月21日号
 市議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp



事業者本来の事業主負担を

8月12日の市議会まちづくり委員会で、井上議員が、JR山陰本線の梅小路新駅の新設と周辺整備の費用負担について、もっとJRなどの負担増を求めるべきと求めました。

駅建設は49億円の見込み。うちJRが19億、国と市が各15億負担の予定です。負担割合にルールはあるか、との同議員の質問に市は「特になし。協議で決めた」と答弁。市も「活性化、賑わい」等と言っていますから、足下を見られた格好です。普段の「財政危機」はどこへ行ったのでしょうか。

あなたならどちらを選びますか 赤信号で1分待つ、或いは5億円の歩道橋!?

また、市はバス駐車場など駅周辺整備に3億円余、七条通りの北側へ渡る屋根付き横断歩道橋に5億円余を充てる予定です。市はこの6月、七条通り沿線の店舗面積の上限を千から3千㎡に緩和、大型店を誘致しようとしています。この中央市場の一角に、駅利用客を誘導したい考えです。井上議員は「私が店を出したら客が来やすいように市が周辺整備をしてくれるのか。周辺整備は駅利用者や大型店の客の為でもある。各事業者にも負担を求めるべき」と歩道橋の必要性も含めて追及、むしろ西大路駅や御前通りガードの改善をこそ急ぐべきだと求めました。写真は駅予定地。

悪く退職が後を絶たない等々、悲痛な声が寄せられています。その上財務省は要介護1・2の訪問介護も、今後全額自己負担等と言っています。政府に、保険給付と現行水準の維持継続を求め、また市として財源投入も含め、現行相当水準を保障すべき。」

▼藤田副市長「総合事業は：要支援の方に対し、現行と同水準のヘルパー派遣やデイサービスに加え、困り事への対応等多様な生活支援サービスを地域団体やボランティア団体等により提供していくもの。介護保険制度の枠内で財源も確保され、これまで以上にきめ細かくサービスが提供できる仕組み。」(同水準とどこまで以上とかが、ひどい答弁)井上市議談)



国と京都市が、来春から、介護保険の一層の改善を準備中です。「総合事業」と称し、要支援の人たちへのヘルパー派遣やデイサービスについて、専門家でないボラン

ティアに任せたり、時間を短縮するなどの計画です。介護報酬も減らされますから、事業者にとっても死活問題です。共産党市議団は、「総合事業を撤回し、少なくとも現行水準を守れ」と要求、事業者や高齢者の皆さんに、アンケートもお願いしてきました(集計冊子は井上議員迄)。

9月2日には、懇談会も予定しています。お気軽にご参加下さい。市も市民意見募集中です(9月2日迄)。

「総合事業」は、「介護の切り捨て」を許さない! 要するに「要するに」

「来春、新総合事業がスタート。保険事故に該当すれば保険給付を保障するのが保険の大原則なのに、該当しても給付しないのは約束違反。介護保険の創設に携わり生みの親と言われた厚労省初代老健局長は、「言い過ぎかも知れないが国家的詐欺となりつつあるように思える」と言っておられます。訪問介護と通所介護の事業所に、党市議団としてアンケートをお願いしました。「減収必至、事業所閉鎖の虞れ、訪問介護から撤退、今でもヘルパーさんの待遇が

「総合事業」は、「介護の切り捨て」を許さない!

「要するに」

「国家的詐欺」を許さない

2日迄)。どんどん提出し、介護守れの世論と運動をひろげましょう。政府は、今回の改善を、今後、要介護1・2の人たちにも拡大する方針です。「こういう場合」(保険事故と言います)には、「こういう保障」(保険給付)をします、というのが保険の仕組みで、しかも社会保険としての社会保険ですから、国の動きは、まさに「国家的詐欺」と言うべきです。

の議会質問から、介護関連の部分と副市長答弁の要旨を紹介いたします。

※ ※

「来春、新総合事業がスタート。保険事故に該当すれば保険給付を保障するのが保険の大原則なのに、該当しても給付しないのは約束違反。介護保険の創設に携わり生みの親と言われた厚労省初代老健局長は、「言い過ぎかも知れないが国家的詐欺となりつつあるように思える」と言っておられます。訪問介護と通所介護の事業所に、党市議団としてアンケートをお願いしました。「減収必至、事業所閉鎖の虞れ、訪問介護から撤退、今でもヘルパーさんの待遇が

安心できる介護制度に
 介護の切り捨てを許さない! 市政報告懇談会

日時 2016年9月2日(金) 午後7:00~8:45
 会場 ハートピア京都 4階(第4・5会議室)
 (JR丸太町駅下車、地下鉄丸太町駅より徒歩5分)

報告
 ①「介護保険の「今」と「これから」国のねらいは」
 藤田 典弘氏 (京都市社会福祉協議会 介護部部長)
 ②「介護アンケートから見える市民・事業者の思い 議員団のとりのり」
 玉本 なるみ 市会議員

～ご参加のみなさんとの意見交換～
 「国の制度はどうなるの?」「訪問介護はいつまで?」「介護報酬の値上げはいつまで?」など

〒600-8281 京都市中京区丸太町二丁目1番1号 日本共産党京都市議員団 電話: 222-3728 FAX: 211-2130 E-mail: cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp